

研究成果展開事業
大学発新産業創出プログラム(START)
大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援
エコシステム促進費
中間評価結果

令和7年1月24日
国立研究開発法人科学技術振興機構

<目次>

1. 制度概要	2
2. 中間評価の目的	2
3. 中間評価の概要	2
4. 総合評価結果のランクと基準	2
5. 中間評価結果	3

1. 制度概要

プラットフォームをまたがる2大学以上が連携し、全国の学生に対して、コンピテンシー形成に資するアントレプレナーシップ人材育成プログラムの展開を目指す。

2. 中間評価の目的

本評価では活動の実施状況や成果・課題を明らかにし、支援期間終了までの取組の改善に寄与することを目的とする。

3. 中間評価の概要

(1) 評価者

大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援委員会

(2) 評価方法

報告書の査読及び面接（プレゼンテーションによるヒアリング・質疑応答）

(3) 評価の観点

- ・ アントレプレナーシップ人材育成プログラムの実施内容や受講者の広報・選考に関する取組、学生・教職員間のネットワーク構築に関する取組、支援終了後の自律化に向けた取組について、当初の計画通り進捗したか。
- ・ 上記取組について、適切に現状の課題が分析されているか。また、今後の対応方針は適切か。

4. 総合評価のランクと基準

総合評価のランクと基準は、以下の通り。

総合評価 ランク	基 準
S	特に優れた進捗があり、成果が大きく期待できる。
A	十分な進捗があり、成果が期待できる。
B	一部不足があるが、概ね一定の進捗があり、今後の改善努力により成果が期待できる。
C	進捗が不十分であり、成果の創出には相当の改善努力が必要である。

5. 中間評価結果

ユニット名	価値検証フィールドワーク・ユニット
リーダー機関	宮城大学 【代表者】 事業構想学群・研究科 学群長・研究科長／教授 中田 千彦
メンバー機関	東北大学、新潟大学、神戸大学、京都大学
評価対象の活動期間	2022年 4月 1日～2024年 6月 30日

1. 活動概要（エコシステム促進費の中間報告書より引用）

本ユニットは「プラットフォームという枠組みを超えて既存のプログラムを繋ぎ、各大学や機関が地域社会の問題解決を通して、未来社会を創る人材を 1500 人規模で育成する」ことを目標に、ソーシャル・アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営を実施している。オンライン講義・ワークショップを提供する1)アクティブ・ラーニング、1)を補完する2)オンデマンド教材、構想した事業プランを検証する3)価値検証フィールドワーク、の3コンテンツを設計、開発し、2023 年度より実施している。効果検証については、2023 年度は、獲得・醸成を目指すスキル・マインドをプログラム設計に反映させ、2024 年度はルーブリックを用いた達成度評価による効果測定を行うこととしている。受講数については、2023 年度は 514 名（達成率 68.5%）、2024 年は 12 月末時点で 821 名（達成率約 54.7%）である。

2. 評価結果

総合評価:B

3. 総合評価結果

目標値達成への道筋が厳しい状況にあるなかで、本年度から取組を見直し、活動の進展が見られる。今後に向けて、原因を数字として洗い出し、「抜本的な」対策に向けた議論の土台とすると良い。周知方法の検討やコンテンツの分析は継続すべきだが、改善策全てに手をつけるのではなく、やるべきことにフォーカスしてゴールに向かうことが求められる。

学生団体へのアプローチを進めている点は良く、今後も拡大を期待するが、他大学への展開が求められる取り組みであるため、学長のリーダーシップのもと、近隣からの展開も進めてほしい。また、受講者である学生のモチベーション向上は必須であるため、ニーズ調査、他地域の事例等も踏まえて、検討することが望まれる。